

# 平成24年3月期 決算概要

日本ケミカルリサーチ株式会社



# 連結決算概要

単位:百万円	2010年度	2011年度	対前年 増減率	2012年度 予想	対前年 増減率
売上高	14,457	12,845	▲ 11.2%	13,400	+ 4.3%
売上原価	5,227	4,213	▲ 19.4%	4,870	+ 15.6%
売上総利益	9,230	8,632	▲ 6.5%	8,530	▲ 1.2%
販売管理費	5,805	5,701	▲ 1.8%	5,510	▲ 3.4%
研究開発費	2,017	1,841	▲ 8.7%	1,860	+ 1.0%
営業利益	1,407	1,089	▲ 22.6%	1,160	+ 6.4%
経常利益	1,312	1,005	▲ 23.4%	1,140	+ 13.4%
当期純利益	926	633	▲ 31.6%	670	+ 5.7%

対売上高	売上原価率	36.2%	32.8%	▲ 3.4%	36.3%	+ 3.5%
	研究開発費率	14.0%	14.3%	+ 0.4%	13.9%	▲ 0.5%
	営業利益率	9.7%	8.5%	▲ 1.3%	8.7%	+ 0.2%

# 売上高内訳(連結)

単位:百万円	2010年度	2011年度	対前年 増減率	2012年度 予想	対前年 増減率
グロウジェクト	8,425	8,396	▲ 0.3%	8,400	+ 0.0%
エポエチンアルファBS注JCR	1,502	1,351	▲ 10.1%	2,430	+ 79.8%
尿由来製品	930	1,303	+ 40.1%	1,180	▲ 9.5%
医薬品製品計	10,858	11,051	+ 1.8%	12,010	+ 8.7%
抗がん剤原体等	2,528	1,138	▲ 55.7%	990	▲ 13.0%
契約金収入	700	300	▲ 57.1%	100	▲ 66.7%
医薬品事業	14,086	12,489	▲ 11.4%	13,100	+ 4.9%
機器事業	371	355	▲ 4.2%	300	▲ 15.6%
売上高合計	14,457	12,845	▲ 11.2%	13,400	+ 4.3%

売上原価	5,227	4,213	▲ 19.4%	4,870	+ 15.6%
売上原価率	36.2%	32.8%	▲ 3.4%	36.3%	+ 3.5%

# 財政状態(連結)

単位:百万円	2011年 3月末	2012年 3月末	増減		2011年 3月末	2012年 3月末	増減
流動資産	13,820	14,242	422	流動負債	4,832	4,420	▲ 412
固定資産	15,996	14,724	▲ 1,272	固定負債	2,152	1,913	▲ 239
				負債合計	6,985	6,334	▲ 651
				純資産合計	22,832	22,633	▲ 198
合計	29,817	28,967	▲ 850	合計	29,817	28,967	▲ 850

自己資本比率	76.3%	77.8%	1.5%
--------	-------	-------	------

主な増減	増加		減少					
資産	棚卸資産	535	長期前払費用	617	現預金	▲ 573	投資有価証券	▲ 1,162
負債	短期借入金	227			買掛金	▲ 725	リース債務	▲ 178
純資産	利益剰余金	247			自己株式	▲ 504		

# キャッシュ・フロー及び設備投資(連結)

キャッシュ・フロー(百万円)	2010年度	2011年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 18	▲ 421	▲ 402
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,211	1,539	3,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,276	▲ 1,065	211
現金及び現金同等物の期末残高	2,812	2,865	52

設備投資(百万円)	2010年度	2011年度	2012年度 予想
設 備 投 資	2,417	487	2,000
減 価 償 却 費	975	1,101	950

# 平成24年3月期のポイント - 1

## 研究 開発

### ライソゾーム病医薬品開発

JR-051 (ファブリー病治療薬):

- ✓ 国際共同治験に向けて準備中
- ✓ GSKのネットワークを通じ、他社技術と融合させた分子の開発

JR-032 (ハンター症候群治療薬):

- ✓ 国際共同治験に向けて準備中
- ✓ BBB通過等、独自技術適用を検討中

### グロウジェクト (JR-401S)

- 平成23年12月に子宮内発育遅延性低身長 (SGA) 症効能追加の申請

### 間葉系幹細胞 (JR-031)

- 臨床第I/II相試験を終了し、平成23年8月より臨床第II/III相試験開始
- 米国Osiris社がカナダにおいて小児を対象として承認取得  
(平成24年5月17日発表)

# 平成24年3月期のポイント - 2

## その他

### グローバル品質保証体制の構築

- ▶世界展開に向け、GSKスタンダードに適合した品質保証体制の構築。

### GSKとの協業対象拡大

- ▶包括提携時(平成21年12月)の契約品目から、新規バイオ医薬品へ拡大。

### メディパルとの提携

- ▶7月23日に開発プロジェクトに関する提携契約を締結  
細胞医薬品などの特殊医薬品配送システムの共同研究等
- ▶9月13日に開発投資契約を締結 ⇒ 契約金3億円を受領  
JCRが開発中のヒト間葉系幹細胞(MSC)を利用した細胞  
医薬品他2品目が対象

# 平成25年3月期のポイント

## 全般

### 成長ホルモン製剤

- SGA(子宮内発育遅延)性低身長症への効能追加承認取得  
⇒平成23年12月に効能追加申請。
- 次世代電動注入器『グロウジェクター2』の発売  
⇒今夏に発売予定。

### グローバル品質体制の確立

- 平成24年3月期より構築を開始したグローバル対応の品質保証体制を7月頃に確立。

### 治験原薬の供給開始

- 2012年末に、GSKが実施する国際共同治験の材料として、治験原薬の供給を開始予定。

# 今後業績に大きく影響をあたえるポイント

## 販管費

### GSK、メディパルによる研究開発費負担

希少疾病分野に特化した開発品目の拡大により、研究費用は増加するが、負担金収入が入ることで、実質的な研究費は横ばいまたは減少で推移する見込み。

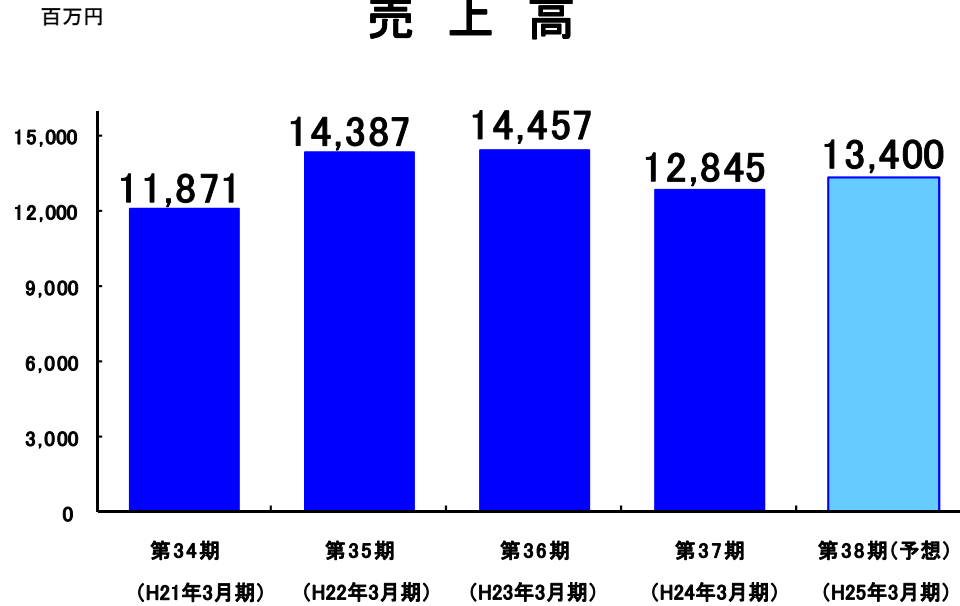
### DSPへの“事業譲渡の対価”支払い完了

平成22年7月から支払っている成長ホルモン事業譲渡の対価の分割払いが、平成27年6月末日に完了。

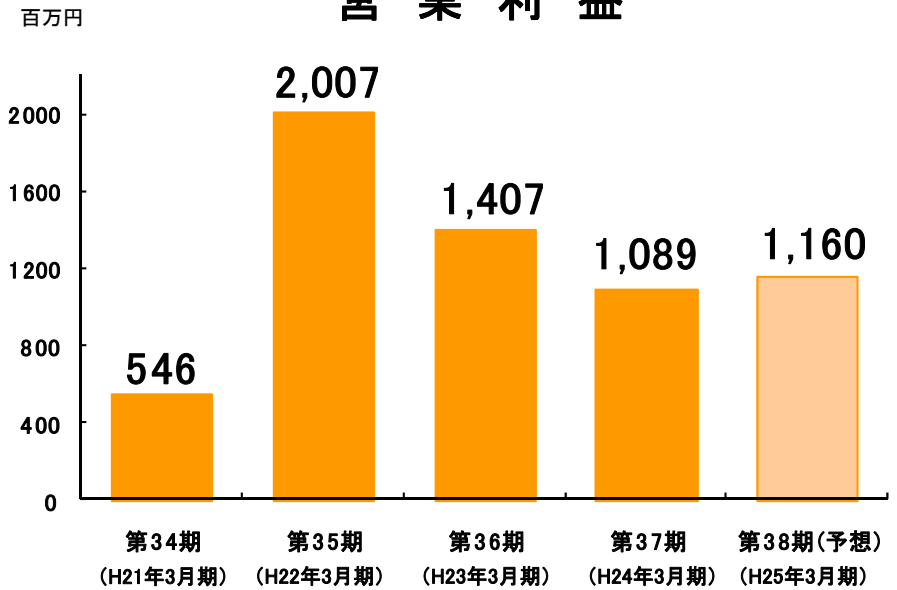
完了後、年間約10億円の支払いが不要となる。

# 売上・利益の推移(連結)

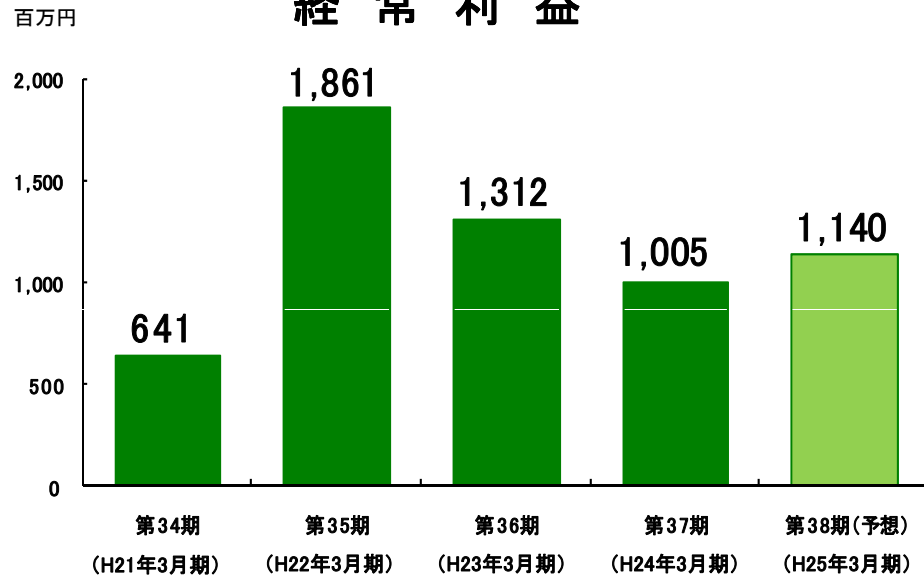
## 売上高



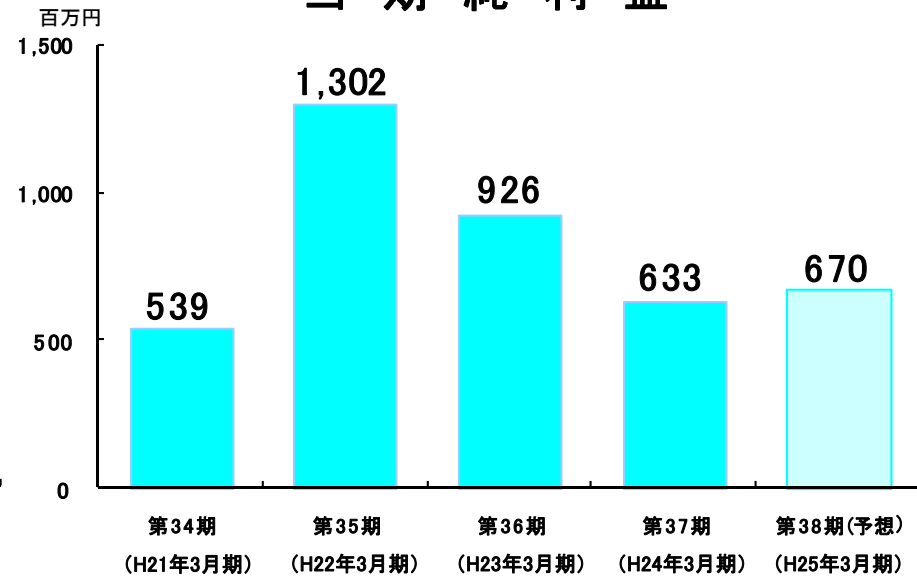
## 営業利益



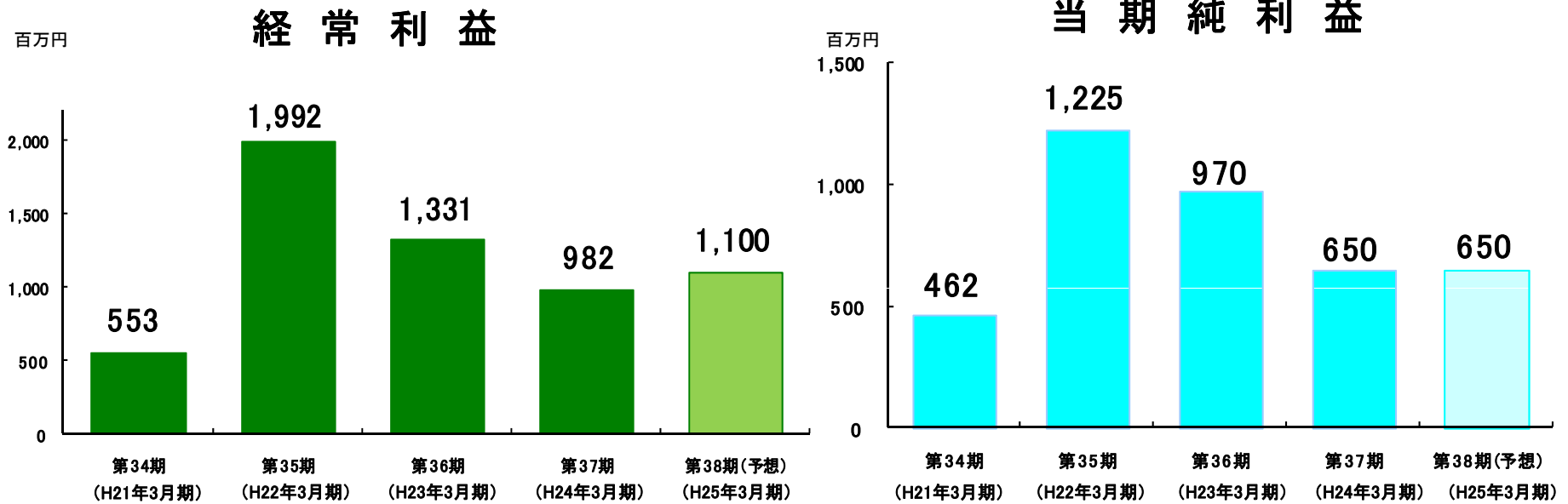
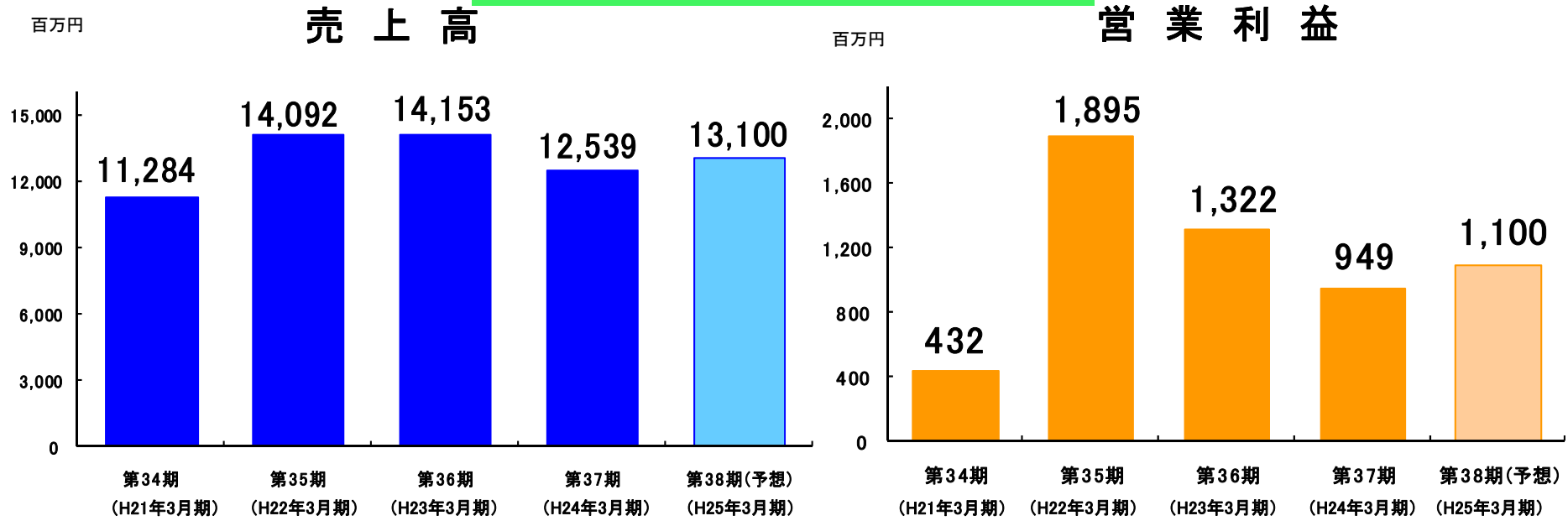
## 経常利益



## 当期純利益

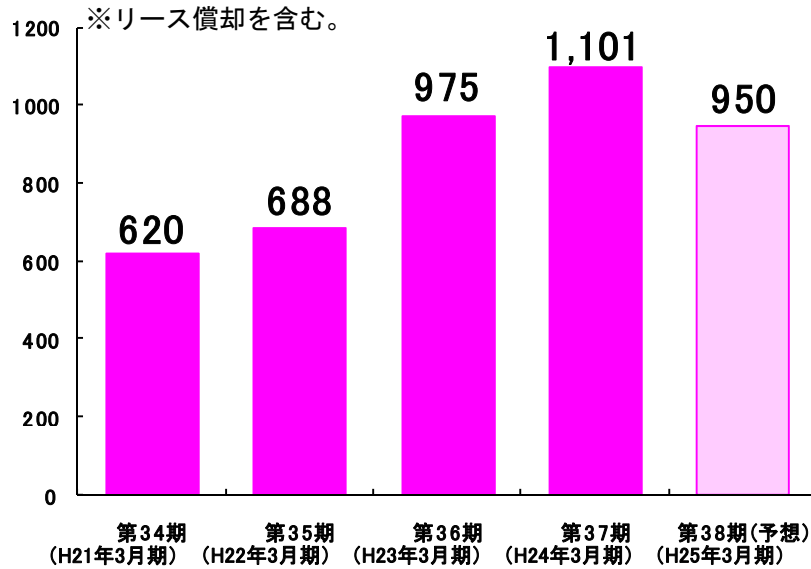


# 売上・利益の推移(単体)

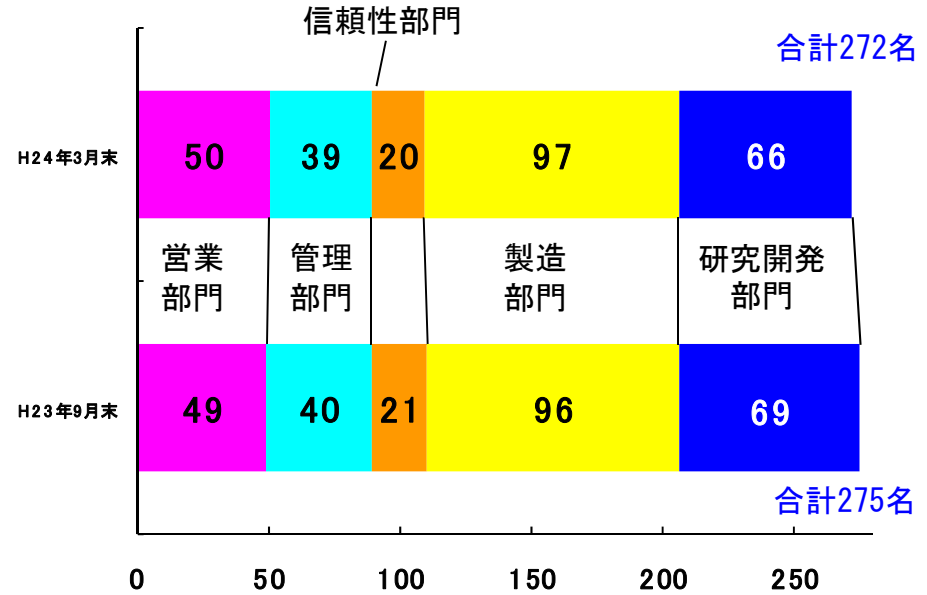


## 減価償却費（連結）

百万円

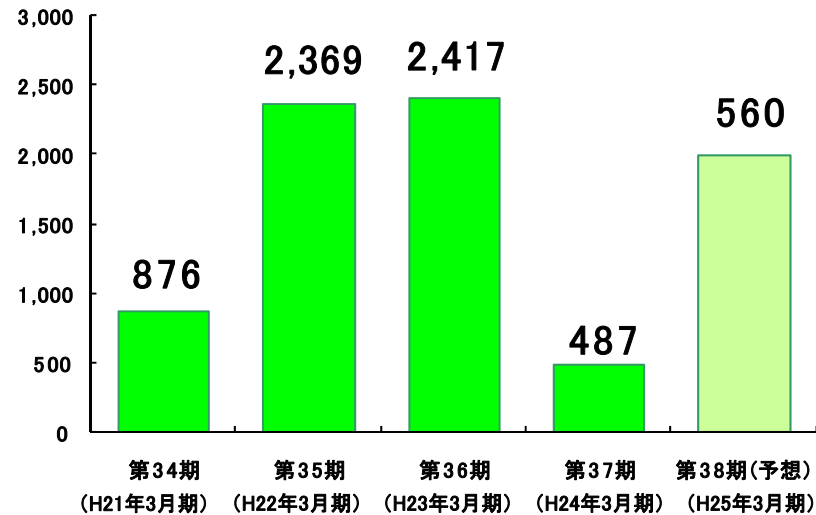


## 従業員数（単体）



## 設備投資額（連結）

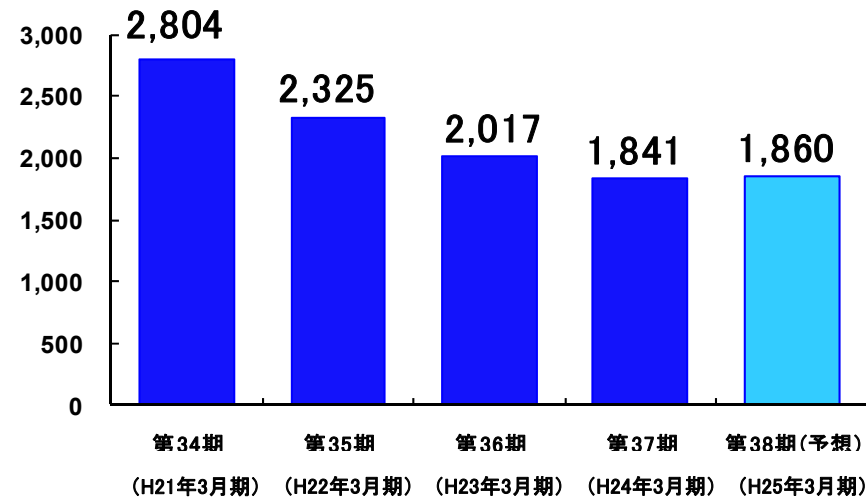
百万円



注)設備投資額の数字にはリース資産も含んでおります。

## 研究開発費（連結）

百万円



# 研究開発状況

## 医薬品

開発番号(一般名)	開発段階	適応症	備考
JR-401S (遺伝子組換えソマトロピン)	効能追加 申請中	子宮内発育遅延性低身長	グロウジェクト効能拡大 自社開発
JR-041 (遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン)	臨床 第Ⅱ/Ⅲ相試験 準備中	不妊治療	完全無血清培養技術による生産 あすか製薬(株)へ導出
JR-032 (遺伝子組換えイズロネート2スルファターゼ)	国際共同試験 準備中	ハンター症候群 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 完全無血清培養技術による生産 グラクソ・スミスクライン・グループ と共同開発
JR-051 (遺伝子組換え $\alpha$ -ガラクトシダーゼA)	国際共同試験 準備中	ファブリー病 (ライソゾーム病)	
JR-101 (遺伝子組換えグルコセレブロシダーゼ)	前臨床	ゴーシェ病 (ライソゾーム病)	

## 細胞治療

開発番号(利用細胞名)	開発段階	適応症	備考
JR-031 (ヒト間葉系幹細胞)	臨床 第Ⅱ/Ⅲ相試験	骨髄移植に代表される造血幹細胞移植時の合併症である移植片対宿主病(GVHD)の抑制	米国オサイリス社より技術導入 他家由来ヒト間葉系幹細胞の利用 持田製薬(株)と共同開発



Thank you for your attention

---